

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.161 2009.3.1

花咲く季節、 里山は春のはじまり

松本市山と自然博物館のあるアルプス公園は里山の自然環境を活かした公園です。

3月は冬から春へと季節がかわる時。下旬になると、公園内でも春の野山の花が咲き始めます。また、それと同時に成虫で冬を越したチョウも飛びはじめます。アルプス公園のソメイヨシノは、松本城よりおよそ1週間遅れて咲きはじめる4月中旬～下旬頃に満開となります。



メジロ



タチツボスミレ



キアゲハ

もくじ

誌上博物館 ◇「松本のコトユウカ」	2-3
ミュージアムショップ通信	4
ガイドコーナーはんでんぼく	4

松本のコトユウカ

はじめに

2月と12月の8日はコトユウカ、オヨウカなどと呼ばれ、農事始めと農事納めの時期における節日にあたります。この日は飲食・行為を慎み、心身を清める物忌の日とされ、全国的に様々な行事が伝承されています。

松本市域では2月8日に、道祖神の祭りをはじめ、両島のお八日念仏と足半、入山辺^{あしなべ}厩所^{うすどころ}の貧乏神送りなど古くから伝承されてきた行事が行われます。これらの行事には、人の暮らしに災いをもたらす疫病神を追い出したり、逆に侵入を防いだりするなど、人やムラの暮らしの安穏を祈る意味があるようです。

これらの行事のうち平成8年に8件は市重要無形民俗文化財に指定、平成12年には「松本のコトユウカ行事」として国選択無形民俗文化財に指定されました。今年は文化庁が記録を残すべき行事として、全国で初めて記録作成を行うなど注目を浴びました。博物館では、市民学芸員養成講座第3期生がコトユウカの見学及び調査を行いました。受講生のみなさんはコトユウカの行事を見るのは初めてで、とても熱心に見入っていました。今回はそんなみなさんの声をお届けします。

コトユウカのキーワードは「藁」と「絆」

市民学芸員養成講座受講生 上條 琴子

20年度市民学芸員養成講座も、最後の講座になりました。今回は、2月8日の松本地域のコトユウカと呼ばれる行事を訪ねました。

私は、両島地区の「お八日念仏と足半」、里山辺^{おつくら}追倉地区の「お八日の綱引き」、入山辺地区上手町の「貧乏神送りと風邪の神送り」を見学調査しました。

両島地区では、お念仏講の14軒が、藁で大きな足半を作り、左廻えした綱を回してお念仏を唱えた後、その綱で足半を高い木に縛り付けて疫病神の来訪を防ぐと伝えられています。

追倉では、藁の籠を綱い、念仏を唱えた後、男女に分かれて綱引きをします。女性が勝つとその年は豊作だと言い、必ず女性が勝ちます。その後籠は、道祖神に巻きつけられ、一年間集落を疫病神の



里山辺追倉の籠づくり

来訪から守ると伝えられています。公民館や頭屋^{とうや}に集まった人々は、生き生きと言葉を交わし合いながら、役割分担をしてテキパキと藁の作り物を仕上げます。力を合わせて生活して来た先人の知恵と、地区の絆を大切にしている姿を見ることができました。

伝承のもつ時代を超えた真実

市民学芸員養成講座受講生 奥村 二三雄

2月8日は、国選択無形民俗文化財である松本のコトユウカ行事が行われる日です。

巨大な足半（縦120cm横70cm）を半日かけて作る両島地区を訪ねました。完成すると代表者の号令で車座になった人たちが数珠をまわし、念仏「南無阿弥陀仏」を唱えます。言い伝えによると、江戸時代、疫病が流行ったため、厄病神を追い払うために大男が履く足半を作って集落境の樹木にぶら下げたところ、疫病が鎮まったといい、以来300年位つづいている行事のようです。



両島の大きな足半づくり

入山辺地区の厩所では、集落の人たち全員が寄って藁馬を作ります。手に手に藁たばを持ち寄って、板で作った骨格に藁を巻きつけていきます。立派な藁馬ができあがると、そのまわりで数珠を回します。車座の中心で代表が鉦を合図に念仏を唱えます。念仏を終えると鉦を先頭に藁馬を外へ担ぎ出します。「ピンボウガミオイハラエー」と囃しながら薄川の河原まで行き、そこで焼き払われました。

私はこの行事を見学調査して、伝承行事に多くの真実や教訓があり、人々の生活の安定や健康をいかに守るかを代々伝えてきたことに興味がわきました。伝承は人から人へと伝えられて何が真実かを伝えようとする知恵があります。私は松本のコトユウカ行事に伝承のもつ時代を超えた真実や教訓の強さについて魅かれてしまいました。



入山辺厩所の長老から聴取り調査

入山辺中村の百足づくり



心温まる一日

市民学芸員養成講座受講生 遠藤 はつみ



入山辺厩所の貧乏神送り

入山辺の厩所のコトヨウカは、貧乏神送り、八日念仏とも呼ばれています。2月8日早朝、貧乏神、厄病神が我が家に入らないように家の木戸先で葱^{ねぎ}・唐辛子を燻し、おはぎや餅を道祖神の顔に塗ると願い事が叶うとされています。明治時代この集落では、伝染病が流行り、貧乏神や疫病神を藁馬に乗せて集落境で焼いて無病息災を願いました。

このあたりでは昔、馬を飼っていたので、藁馬を作るようになったようです。今から30年位前までは子どもたちの行事で藁馬を作っていましたが、年々子どもの数が減ったために大人が参加するようになり、この行事を毎年8日に行っています。

厩所の貧乏神送りを調査して、藁馬づくりの手際のよさに感心しました。また、先人が守り伝えてきた行事を絶やさず伝えていきたいという若い方々の姿や思いが強く感じられました。「貧乏神送り」を伝承することで、助け合う暮らしと心を子どもたちに教え、この絆を大切にしています。人として生きていく大事な事を教えていただき、心温まる一日となりました。

針供養

コトヨウカの行事の中で、よく知られるものに針供養があります。行事そのものを知らない人も、豆腐や蒟蒻に針を刺す光景をテレビや新聞などで目にしたことはあるのではないのでしょうか。

今回私たちは針供養についても調査しました。

まず、使い古した古針や折れた針などを豆腐や蒟蒻といったやわらかい物に針をさし、神社などへ奉納したり、土の中へ埋めたりして供養します。また、地域によっては海や川へ流していたところもあったようです。そして、この日は裁縫の上達を願う日として、針仕事を休むという物忌の日とされています。

松本市域の針供養は、2月8日に行われています。最近では個人のお宅で行うところは少なく、神社などに集まって行われることが多いようです。深志神社では、縫職関係の方々が集まり針供養が行われています。拝殿で、祝詞があげられ、供物台にのせられた蒟蒻を回して、使っていた針を蒟蒻にさし次の人に回していきます。季節柄、冷たい空気の流れる拝殿内を、集まった方々は厳粛な面持ちで針供養に臨んでいました。1年間、使ってきた針に感謝し、今年の仕事へしっかり臨んでいこうというみなさんの気持ちがひしひしと伝わってきました。



針供養

おわりに

今回19人が2班に分かれて調査を行いました。代表して3人の方に当講座の締めくくりのレポートを寄せていただきました。

行事に携わる人達の共通の思いは、これからも自分たちの地域に伝わるこの行事を絶やさず続けていこうという願いでした。私たちの住む松本にこのような行事が連綿と伝承されていることを、より多くの皆さんに知ってほしいと思います。

(学芸員 / 和田 裕也)

参考文献

「日本民俗地図I 年中行事1」	文化庁	1969
「松本市史 第3巻 民俗編」	松本市	1997
「松本のたから-受け継ぎ伝える郷土の文化財」	松本市教育委員会	1998
「日本民俗大辞典上巻」	吉川弘文館	2000

『バンカラ押絵』

旧制高等学校記念館のミュージアムショップでは、松高生をイメージした押絵の色紙「バンカラ押絵」を販売しています。

雛祭りに合わせてかつて、好評だったグッズを、入荷しました。白線帽、マントに下駄といった“三種の神器”に加え、腰のてぬぐいまで再現!! 価格は1,000円(税込)です。



『北アルプスのパノラマ写真』

山と自然博物館では、博物館から西側を撮影したパノラマ写真を販売しています。

北アルプスの山々と安曇野が写り、山名と標高が印刷され、サイズは42cm×15cmです。来館の記念にいかがですか。価格は300円(税込)です。



ガイドコーナー はんでんぼく

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

記念展「新松本百景ー柳沢健の世界」

会 期 3月21日(土)～4月12日(日)

会 場 博物館2階特別展示室

観覧料 通常観覧料(大人200円、小人100円)

年中行事シリーズ「月遅れの雛祭り」

ロビー展示

会 期 3月14日(土)～4月5日(日)

甘酒サービス

来館者に甘酒をサービスします。(なくなり次第終了)

日 時 4月3日(金) 午前9時30分から

会 場 博物館1階エントランス

時計博物館から

☎0263-36-0969

春休みネジ巻き見学会

普段は見ることができない、開館前に時計技師が行っている時計のネジ巻きや時刻合わせの様子を、解説をまじえながら公開します。

会 期 3月20日(祝・金)～3月22日(日)

各日午前9時～9時40分

会 場 時計博物館常設展示室

参加料 常設展観覧料が必要

(大人300円、小・中学生150円)

時の記念日企画展「わが家のお宝時計展Ⅲ」 出展時計の募集

6月10日の時の記念日にあわせ、各家庭で所蔵している時計をエピソードとともに展示します。

【応募・問合せ】 時計博物館へ

【募集期間】 4月12日(火)～5月17日(日)

【定 員】 先着30名(時計の搬入・搬出ができる方)

山と自然博物館から

☎0263-38-0012

企画展「信州の桜」展

桜のシーズンにあわせ、信州の桜の名所を撮影した写真約20点を展示します。

会 期 4月5日(日)～5月6日(水)

観覧料 無料(2階ホール)

講演会 / 信州の桜を写す

日 時 4月5日(日) 午前10時～12時

講 師 宮下 済雄(日本写真協会会員)

参加料 無料

旧制高等学校記念館から

☎0263-35-6226

ギャラリー企画展 小井土 昭二写真展「飾る」より「錢絵の世界」

会 期 3月21日(土)～4月19日(日)

会 場 旧制高等学校記念館ギャラリー

第71回 サロンあがたの森

話 題 / 私の生殖医療に関する全容

話題提供者 / 根津八紘(諏訪マタニティクリニック・医師)

日 時 3月14日(土) 午後1時30分から

会 場 あがたの森文化会館1-5教室

第72回 サロンあがたの森

話 題 / 見逃すな! 乳癌 そしてオクロクラシーに警戒

話題提供者 / 山下泰徳(松本高・外科医)

日 時 4月11日(土) 午後1時30分から

会 場 あがたの森文化会館1-5教室

空穂記念館から

☎0263-48-3440

松本の子どもの短歌・2008作品展

会 期 3月19日(木)～4月12日(日)

会 場 窪田空穂記念館会議室

最優秀賞と優秀賞の24首は松本電鉄上高地線の電車内にも展示

観覧料 作品展のみは無料

春休み窪田空穂記念館囲碁教室

日 時 3月25日(水)～27日(金)

①午前9時30分～11時30分 ②午後1時～4時

会 場 窪田空穂記念館(生家)

内 容 午前 / 小中学生の部入門コース・大人の部級位者コース

午後 / 小中学生・高校生の部実力養成コース

参加料 無料(定員あり)

指 導 囲碁普及ボランティアグループ

申 込 Tel.090-5808-0768 峯岸まで

あとがき

アルプス公園の3月から5月は、一年のうちで最も心地よい季節で、自然をたのしみに来る人々にぎわいます。桜はソメイヨシノの他に八重桜やヤマザクラがあり、5月まで何種類もの桜を楽しむ事ができます。ぜひ春のアルプス公園へ遊びに来て下さい。

(M.O)

あなたと博物館 No.161

発行年月日 / 平成21年3月1日 編集・発行 / 松本市立博物館

〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133

URL: <http://www.matsu-haku.com>e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社